

MTD Compact Logsplitter

Model: **LS 8 i**



MTD
For A Growing World.™



MTD エンジン式 薪割機
操作マニュアル

ROVER LS8 破砕力：8t

重要：安全上の決まりと指示をよく読んでください。

— MTD 日本正規輸入元 —
a+ 株式会社 エー・プラス

お客様各位

このたびは、MTD薪割り機をご購入いただき、誠にありがとうございます。
この薪割り機はエンジン式で破砕力 8tのパワーがあり、コンパクトに収納できます。
操作マニュアルの安全上の決まりと指示をよくお読みいただき、十分注意をしてご使用ください。

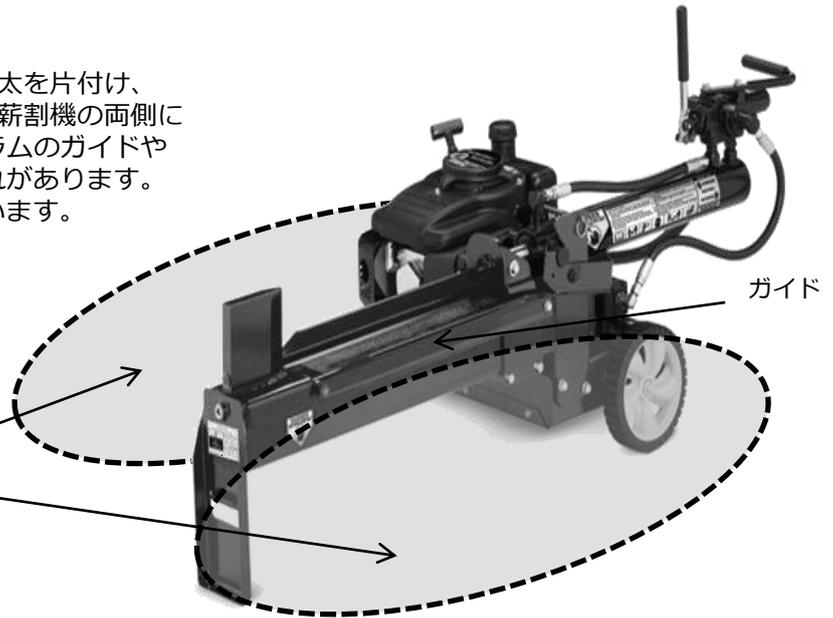
注意！！ 必ずはじめにお読みください。

- 作動油、エンジンオイルは入っております。
出荷時に入れて調整してありますので、最初にお使いになるときには入れる必要はありません。
- 作動油、エンジンオイルを交換する場合は以下の種類になります。
作動油・・・ 一般作動油 32番 又は Dexron III 自動変速機油圧オイル
エンジンオイル・・・ サービス用のSE、SF、SGのSAE 10W-30
エンジンオイル容量 - 約0.5リットル
- エンジンにガソリンは入っておりません。ガソリンを入れてからお使いください。
ガソリンのタンク容量 - 約1.3リットル
- 点火プラグ - 標準プラグ TORCH F6RTC 適応プラグ NGK BPR6ES

ご使用上のご注意！！

薪割り機で原丸太を割った後は、毎回必ず割れた丸太を片付け、薪割り機のそばに置いたままにしないでください。薪割り機の両側に落ちた薪をそのままにして次の丸太を割ると、ラムのガイドやボルトなどが引っ掛かり、薪割り機が損傷する恐れがあります。この場合、保証対象外 となりますのでご注意ください。

薪割り機の両側のこのエリアには、割れた丸太を置きっぱなしにせず、毎回必ずかたずけてから次の丸太を割ってください。



重要

お買い上げいただいた薪割り機をお使いになる前に薪割り機についている銘版をご覧ください。そこに書かれている情報を右記にご記入し、保管ください。この銘版の情報は弊社の顧客サポート部門または正規ディーラーにお問い合わせいただく際に必要となる大変重要なものです。

Model Number	Serial Number
	MTD LLC P.O. BOX 361131 CLEVELAND, OH 44136 330-220-4683 800-800-7310
www.mtdproducts.com	

こちらにモデルナンバーを記入ください

こちらにシリアルナンバーを記入ください

製品のお問い合わせ

本製品の組み立て、制御・操作またはメンテナンス上のご質問は、お買い求めの販売店へお問合せください。
モデルナンバーとシリアルナンバーをご用意ください。

それでは、MTD薪割り機をお気をつけてご活用ください。

目 次			
セクション1 安全にお使いいただくために重要なこと	2	セクション6 エンジンの安全注意事項	10
セクション2 薪割機の準備	4	セクション7 エンジンの操作	11
セクション3 薪割機を理解してください	5	セクション8 エンジンのメンテナンス	12
セクション4 薪割機のメンテナンス	7	MTD限定保証書	14
セクション5 トラブルシューティング	9	パーツリスト	15

セクション1 : 安全にお使いいただくために重要なこと



警告： このマークがある個所はその安全に関する指示をお守りいただけない場合、ご自身または周囲の方の身体または財産に危険を及ぼす可能性のあるものを指します。本機を操作する前に本マニュアルの指示をすべて読んでこれに従ってください。この警告マークがあったら注意してください。



警告： エンジンの排気、その構成物質および車両の部品の一部はカリフォルニア州が認定した発ガン性、奇形誘引またはその他の生殖上の害を及ぼす化学物質を有するか発します。

危険： 本機は本マニュアル中の安全に操作をしていただくための決まりに従って操作をしていただくことを前提として作られています。他のタイプの動力機械と同じく、操作をする方の不注意やミスにより重大な傷害をことが考えら、本機により手足の切断や、ものがはじかれるということもありえます。以下の安全上の指示に従っていただけない場合は、重大な傷害を受けたり死亡したりすることがあります。

重要： 本機についているWarning! Danger!の表示の内容については、次の「はじめに」「準備」「操作」に記載してありますのでよくお読みください。

はじめに

1. 組み立て・操作を行う前に本機およびマニュアル類にある指示をすべて読み、理解し、これに従ってください。今後常に参照するために、そして交換部品を注文する際のために本書は必ず保管してください。
2. 制御部やその操作に習熟してください。停止やギアの切断を速やかに行う方法を覚えてください。
3. 16歳未満のお子様には運転させないで下さい。16歳以上の成人の場合は、本マニュアルの操作指示や安全規則を読んで理解していただき、訓練を受けた上で保護者の監督下で操作するようにしてください。
4. 成人の場合も適切な指示を受けずに操作することのないようにしてください。
5. 事故の多くは複数の方が操作をしているときに起こります。補助者が丸太を乗せる手伝いをしている場合、補助者が3m以上離れるまでは制御機器を操作しないで下さい。
6. 動作中は第三者、補助者、ペット、子供らが6m以上離れているようにしてください。
7. 本機には決して乗らないで下さい。また、本機で荷物を運搬しないで下さい。
8. 油圧薪割機は動作中に高い油圧を生じます。針の穴のようなところからでも液が漏れると皮膚を貫通して血液を汚染したり、壊疽や死亡を引き起こしたりすることがあります。常に以下の事柄に注意してください。
 - a. 直接、手で漏れをチェックしないこと。
 - b. 直接、手で漏れをチェックしないこと。
 - c. 金具、ホース、チューブあるいはその他のシステム部品を交換または調整する前にエンジンを止め、油圧システムの圧を落とすこと。
 - d. ポンプまたはバルブの圧力設定を調整しないこと。
9. 漏れを探す場合は保護手袋と安全めがねを着用して疑わしい部分に厚紙か木をかざし、シミを見てください。
10. 漏れた液で受傷した場合はすぐに医師に相談してください。早急に適切な手当を受けないと重大な汚染症や反応症状を引き起こす可能性があります。
11. 安全な足場を確保するために操縦者の場所とその周りをきれいにしてください。
12. 内燃エンジンを装備した装置で、森、茂み、草地など開かれていない場所の近くで動作させるものは、エンジンの排気システム用火の粉止めを装備しなくてはなりません。地域、国、および連邦法に適合するようにしてください。適切な消火装置を備えてください。
13. 本機は薪割り専用です。その他の用途には使用しないで下さい。

準備

1. 常に安全靴か厚いブーツを履いてください。また、革手袋をはめて使用してください。
2. 本機の操作中は常に安全メガネ、または安全ゴーグルを着用してください。
3. 動作部回転部に巻き込まれるような装身具やだぶだぶの衣類は着用しないで下さい。
4. 操作前に本機が平らな地面に置かれていることを確認してください。
5. 思いがけず機械が移動しないよう本機をブロックし水平または垂直方向にロックしてください。
6. 必ずマニュアル記載の操作位置で操作してください。
7. 丸太は割る前に切り口を平らにしてください。
8. 本機は昼光または十分な人工照明の下でご使用ください。

9. 人的傷害や物的損傷を避けるためガソリンの取り扱いには十分注意ください。ガソリンは非常に可燃性が強く気化すると爆発します。ご自分や衣服にかかった場合は着火して重大な傷害を起こす可能性があります。すぐに皮膚を洗淨し服を着替えてください。
 - a. 認可されたガソリン容器を使用してください。
 - b. タバコ、葉巻、パイプその他火の元をすべて消して下さい。
 - c. 室内で給油しないで下さい。
 - d. エンジンが熱いうちや稼動中は絶対にガソリンキャップをはずしたり給油したりしないで下さい。
 - e. 給油時はエンジンが冷却するよう、最低2分は待ってください。
 - f. タンクから絶対に溢れ出させないで下さい。燃料が膨張したときのためのスペースを確保するため、ガソリンは燃料注入口下2.6cmまでとしてタンク上部は空けてください。
 - g. ガソリン・キャップを戻してしっかりと閉めてください。
 - h. ガソリンがこぼれたらエンジンや機器からふき取り機械を別の場所に移動してください。エンジンをスタートさせるまでに5分間以上お待ちください。
 - i. 温水器、暖房機、燃焼炉、衣類乾燥機やその他のガス器具などの裸火やスパーク、または種火のある屋内に本機や燃料容器を保管しないで下さい。
 - j. 保管する前に少なくとも5分間以上は本機を冷ましてください。

操作

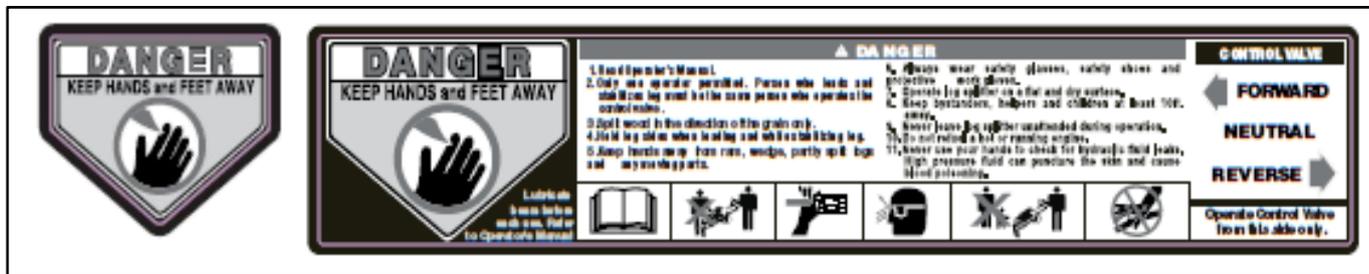
1. 本機の始動前には 『安全に関する指示』 を確認してください。この指示に従わない場合は操縦者や第三者に重大な傷害を引き起こすことがあります。
2. エンジンが動いている間はその場を離れないで下さい。
3. アルコールや薬品の影響下にある場合は本機を操作しないで下さい。
4. 適切な指示がないままに誰かが本機を操作するようなことが決まっていないようにしてください。
5. 常に安全装置を装備・稼動させた状態で操作してください。安全な操作のために制御装置が適切に調整されていることを確認してください。
6. エンジンのガバナ（調速機）の設定を変えたり過速度運転をしたりしないで下さい。ガバナはエンジンの最大の安全動作スピードを制御しています。
7. 丸太を載せる時は常に両手を丸太のサイドに置くようにして、決して丸太の端は持たないようにしてください。丸太を安定させるために足を使うことは決してしないで下さい。足を使って使用すると指、つま先、手あるいは足をつぶされたり切断されたりすることがあります。
8. 制御部を操作する際は手以外は使わないで下さい。
9. ラムが伸びきってしまって、先の丸太を割るのに次の丸太を入れなければならなくなった場合を除いて、同時に2本以上の丸太を割ることは絶対にしないで下さい。
10. 丸太が四角に切れなかった場合、丸太の四角くない端で長い方をビームとウェッジの方向に置き四角い端をエンド・プレート側に置いてください。
11. 丸太を割る際に出来る割れ目には指を近づけないで下さい。割れ目が閉じて指をはさんだり切断したりすることがあります。
12. 作業場所はきれいにしてください。機械の周りの木片などは速やかに取り除いてつまずいたりすることのないようにしてください。
13. エンジンが動作中は本機を移動させないで下さい。
14. 本機の牽引は行わないで下さい。

メンテナンスと保管

1. 本機の清掃または検査を行う前にエンジンを止め、スパーク・プラグの電源をはずしてエンジンに対してアースしてください。
2. 金具やホース、チューブ類またはその他のシステム部品の修理や調整を行う前にエンジンを止め油圧システムの圧力を逃がしてください。
3. 火災を防ぐためエンジンとマフラー部から破片やくずを取り除いてください。エンジンに火の粉止めが装備されている場合これもメーカーのマニュアルに従って定期的に掃除・検査してください。損傷している場合は交換してください。
4. 装置が安全に動作していることを確認するため、ボルト、ナット、ホース押さえおよび油圧金具がしっかり締められているかどうか定期的にチェックしてください。
5. 安全保護装置やシールドが適切な位置にあるかどうか確認するためすべてチェックしてください。安全保護装置、シールドあるいはその他の保護機能ははずした状態で操作しないで下さい。
6. 圧力逃しバルブは工場でもって設定してあります。バルブを調整しないで下さい。
7. 適切な補助がない場合は、勾配がある場所及び平坦でない場所に絶対に移動させないで下さい。
8. 安全のため損傷した部品や磨耗した部品は速やかに純正部品と交換してください。メーカー仕様に合致しない部品を使用すると動作不良を起こしたり安全性を損なったりします。
9. 本機にはいかなる改造も施さないで下さい。ロープをつけたり制御レバーを延ばしたりウェッジの幅や高さを変えたりするとけがにつながります。



警告： 本機の操作は、本マニュアルや本機に記載されている警告や指示を読み、理解し、これに従うことのできる方のみ、行わせるようにしてください。



注意： すべての安全ラベルがご購入のログ・スプリッタに当てはまるわけではありません。

使用期間

消費者製品安全委員会（CPSC）、そしてアメリカの環境保護機関により、この製品は使用期間7年もしくは、操作時間130時間が可能です。その期間が終了したら本機は必ず1年に一度認定サービスセンターで整備を受けてください。整備をしない場合重大な事故が起こる場合があります。

セクション2：新割機の準備

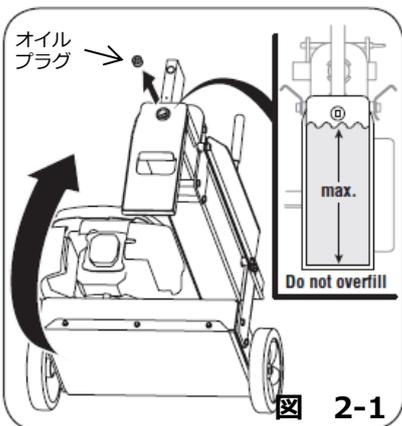


図 2-1



警告： 本機のご使用には十分に注意してください。
また、本機は重量があるため、補助となる人が必要となります。

新割機を準備する

重要： この新割機は、作動油が入った状態で出荷されています。新たに作動油を入れる必要はありません。

作動油の入れ方

1. ビームアセンブリーの後ろにあるオイルプラグをはずす。（図2-1参照）
2. 作動油を入れるときは新割機を傾けて入れてください。
作動油のレベルチェックは新割機を水平の状態に戻して行ってください。
（一般作動油32番またはDexron-Ⅲタンクからあふれないように作動油を入れてください。）
3. オイルプラグをつけて、締めてください。
4. 本機を戻し、安定した地面に置いてください。

重要： 作動油が冷めている時にレベルチェックをしてください。
最大作動油のレベルはシリンダーが回るまで達しません。決してこのレベルより下で使わないでください。ポンプの破損につながります。（作動油はエンジンをかけ、シリンダーを動かすとシリンダーにオイルが回るため作動油のレベルが下がります。レベルが下がったら、もう一度作動油を入れ、適正レベルにしてからお使いください。）

重要： この新割機は、エンジンオイルが入った状態で出荷されています。新たにエンジンオイルを入れる必要はありません。
注： 新割機を使用する前には、必ずエンジンオイルの量を確認してください。

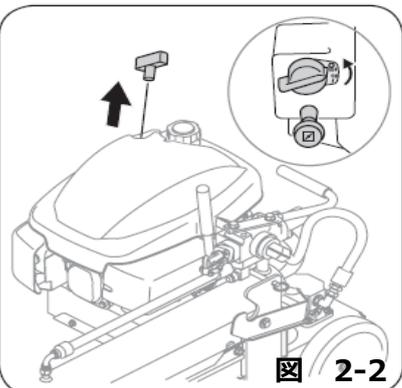


図 2-2

5. エンジンオイルの量を確認してください。（エンジンの取扱説明部分も参照してください）
6. エンジンのスイッチが切れていることを確認してからリコイルローブを4～6回引き、ポンプに作動油を回します。この動作をしないでエンジンをかけるとポンプに作動油が回らず、ポンプの破損につながります。（図2-2参照）

〈コントロールレバーの組み立て〉

7. A. クレビスピンとヘアピンクリップを外してください。（図2-3参照）
B. 穴に合わせて、グリップを起こしてください。
C. 穴をそろえてクレビスピンとヘアピンクリップを取り付けてください。

〈シリンダーの移動〉

8. A. シリンダーベースからロッキングピンを抜きます。（図2-4参照）
B. ハンドルを握ってシリンダーをスライドさせ、ロックポジション（操作ポジション）に移動させます。（溝にきちんとはまっていることを確認してください。）
C. ロッキングピンを再び取り付け、固定してください。
※収納する場合は、この操作の反対を行います。

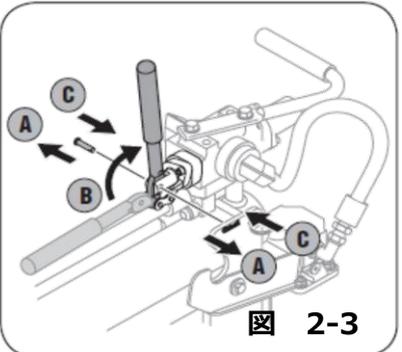


図 2-3

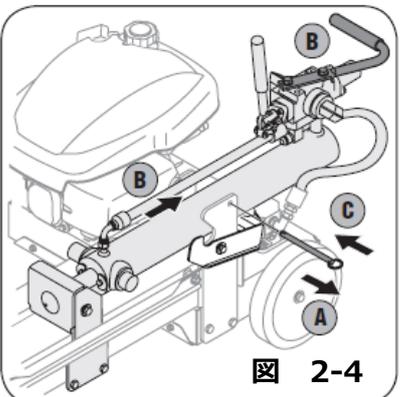


図 2-4

※新割機を使用する場合は、シリンダーを移動し、シリンダー横のスイッチを押した状態の“ロックポジション（操作ポジション）”にセットしないとエンジンはかかりません。



警告： ガソリンを取り扱う時は注意してください。
ガソリンは爆発する可能性があります。
ガソリン燃料は室内では入れないでください。
エンジンが熱い時には入れないでください。
ガソリンはタバコや発火の原因となるものの近くでは取り扱わないでください。

セクション3 : 薪割機を理解してください

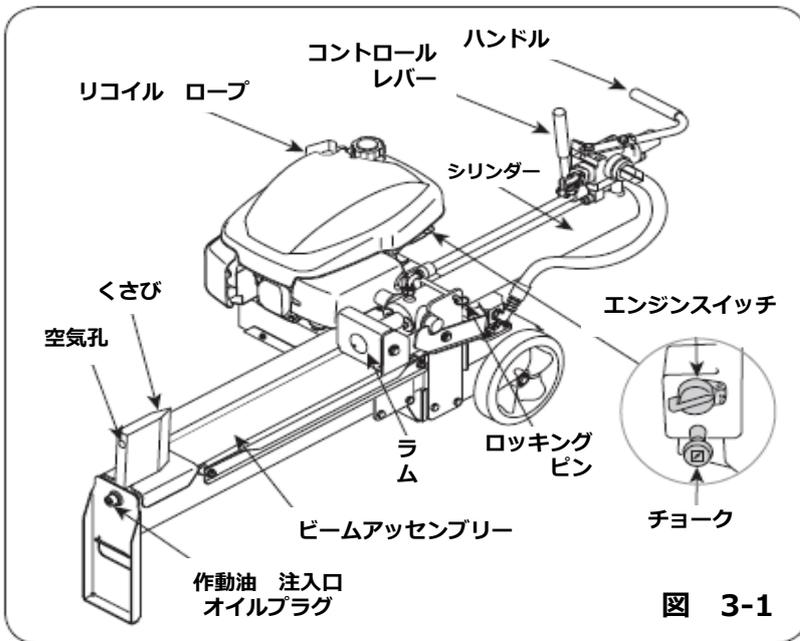


図 3-1



警告： 操作する前に、本機とこの取扱説明書のすべての操作や警告をよく読み、理解してそれに従ってください。革手袋、安全靴、耳を保護するヘッドホン、安全ゴーグルを使用して薪割機をお使いください。また、足まわりを安全にしてください。

油圧バルブ

油圧バルブの操作は3ポジションあります。

- ・FORWARD (前進) ポジション
ラムがくさびの方向 (丸太を割る方向) へ動きます。
- ・NEUTRALポジション
ラムの動きを止めるためには、コントロールレバーをニュートラルポジションにします。
- ・REVERSE (後進) ポジション
シリンダーベースに戻ります。リバースポジションはラムが完全に収納されるまで自動で動きます。

前進の場合、コントロールハンドルを離すとニュートラルポジションに戻ります。
リバースポジションでは必要な場合、手動でニュートラルポジションに戻すことができます。

ハンドル

ハンドルはシリンダーを動かす (スライドさせる) ために使用します。

空気孔

空気孔は、くさびの後ろにあり、リザーバタンク (作動油タンク) の空気抜きになっています。薪割機を傾けて使用するとこの空気孔から作動油が引き出ることがあるため、必ず水平な状態で操作してください。

セーフティースイッチ

シリンダーがロックポジション (操作ポジション) にない場合 (収納状態) では、セーフティースイッチが入らずエンジンがかかりません。ロックポジションにシリンダーを移動し、このセーフティースイッチが入ることでエンジンがかかります。(図3-3参照)。

リコイルロープ

エンジンを始動させるには、このリコイルロープを引きます。

エンジンスイッチ

エンジンを始動させるとき、またエンジンを切る時にこのスイッチを回してください。

チョーク

チョークレバーを引くことでチョークポジションに入ります。エンジンがかかりにくい時、寒い季節にお使いください。エンジンが温まっている時は必要ありません。

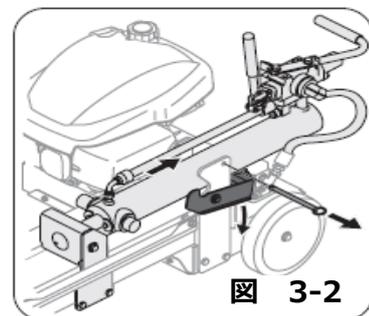


図 3-2

薪割機の操作



警告： 本機の動く部分に手や足を近付けないでください。エンジン始動にスタート用圧縮ガスを使わないでください。発火の恐れがあります。ポンプに作動油が回っていることを確認してから行ってください。

1. ロッキングピンを抜いて、収納ポジションからロックポジション (操作ポジション) へ、ハンドルを使いシリンダーを移動させます。(図3-2参照)
2. セーフティースイッチを押すようにセットし、ロッキングピンを再びさして固定させてください。(図3-3参照)
3. 薪割機を平らで乾いた地面の上に置きます。
4. エンジン本体にあるチョークノブを引きます。

注意： チョークの使用はエンジンが温まっている時は必要ありません。

5. エンジンスイッチを“ON”にします。(図3-4参照)
6. リコイルロープを握り抵抗が感じられるまでゆっくりと引き、それから素早く引きエンジンをかけます。(図3-4参照) リコイルロープを10回ひいてもエンジンがかからない場合は2~3分待ってから繰り返してください。

注意： リコイルロープはダメージを避けるために手を放さないで静かに戻してください。

7. エンジンがかかり、温まったら、必ずチョークを戻してください。
8. システムのたまった空気を抜くために、4~6回シリンダーを動かしてください。

重要： 作動油を入れ替えた時などは、エンジンをかけ、シリンダーを動かすとシリンダーに作動油が回り、作動油のリザーバタンク内の作動油のレベルが下がります。必ず1度エンジンをきってからスパークプラグをはずし、もう一度作動油注入口のオイルプラグをはずし、作動油を加え適正レベルにしてからお使いください。

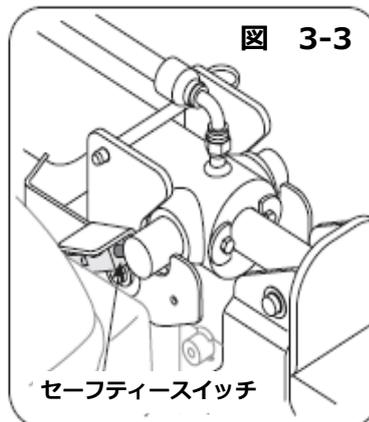


図 3-3

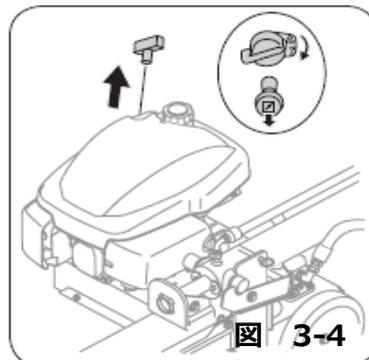


図 3-4

薪割機を止める

1. エンジンスイッチを切ります。
2. スパークプラグ線はずします。
3. ロッキングピンはずします。
4. シリンダーをハンドルを使い、収納ポジションに戻します。
5. シリンダーを固定するために、ロッキングピンを再び差します。

薪割機を使う前に

1. オイルプラグはずし、水平な地面の上で作動油のレベルをチェックしてください。（薪割機を水平にしてレベルチェックをしてください。）適正なレベルはオイルプラグの丁度下になります。必要があれば作動油を追加してください。（一般作動油 32番 または Dexron-Ⅲ）
2. エンジンオイルレベルをチェックします。必要があれば、補充またはエンジンオイル交換します。
3. 必要があればガソリンを補充します。
4. エンジンオイルなどの潤滑油でシリンダーがスライドするビームのトップと下部を滑らかにしてください。
5. スパークプラグ線に戻します。

薪割機を使う

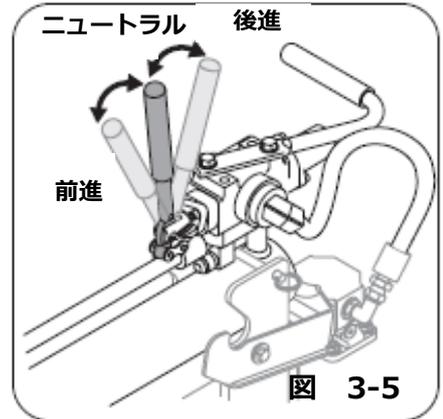
重要：必ず水平な場所で操作してください。

水平でない場所で使用すると作動油が空気孔から吹き出ることがあります。

1. 薪割機の両方のタイヤの前と後ろを動かさないように固めてください。
2. くさびとラムの間に丸太を置きます。木の繊維の方向（縦方向）が割れる方向になりますので、決して横に置かないでください。
3. 必要であれば、丸太のサイドを左手を使って安定させます。決して木とくさび、ラムの間の丸太の端には手を置かないでください。

重要：1人の大人のみで丸太を安定させ、また油圧バルブの操作も行ってください。

4. ラムが丸太に触れるまでコントロールレバーを前進方向に動かします。（図4-5参照）ラムが丸太に触れたらコントロールレバーを離し、ニュートラルポジションにします。
5. 丸太から左手を離し、丸太を割るためにコントロールレバーを前進に動かします。
6. 割り終わった後はレバーを後進ポジションにし、ラムを完全に収納させます。



警告：部分的に割れ残った丸太は、決して手を使って外さないでください。

指が割れた丸太の間に挟まりつぶれてしまうなどの重大な事故を起こす可能性があります。

割った薪は毎回必ず取り除き、薪割機のそばから離してください。

操作する上での注意事項

通常

1. 作動油はきれいなものを使用し、定期的にレベルのチェックをしてください。
2. 認められた作動油を使用してください。（一般作動油 32番 または Dexron-Ⅲ）
3. 油圧ホースはきれいにしてください。また、引っかけて壊さないようにしてください。
4. 操作する前に、システム内の空気を取り除くため、シリンダーを4～6回動かしてから使用してください。
5. 再始動する前に、油圧システムに異常がないことを点検してください。
6. 使用前にホースのつなぎ目の金具のゆるみを点検してください。
7. 水平な地面で操作してください。
8. 丸太を割る前には、本機を十分に温めてから操作してください。
9. 作動油を入れ替えたときは、エンジンスイッチを切った状態でスパークプラグはずし、リコイルローブを4～6回引っ張り、ポンプに作動油を回してください。
10. 薪を作ることに使用してください。
11. ラムの前に丸太を置いて使用してください。
12. 割れて横に落ちた丸太はその都度必ず片付け、薪割機の周りには置かないでください。

絶対にしてはいけないこと

1. オイルが摂氏-6°（華氏20°）未満または、摂氏66°（華氏150度）以上で使用すること。
2. シリンダーが伸び切って止まっている状態で前進ポジションに入れないこと。エンジンが止まります。
3. バルブを自分で調整すること。（事前に調整してあります。）
4. 油圧システムを調整すること。
5. 木目を横切って丸太を割ること。
6. 手を使って、くさびから割れ残った木をはずすこと。
7. 割れた丸太を片付けず、薪割機の横に置いたまま次の丸太を割ること。



警告：割れた丸太を片付けず、薪割機の横に置いたまま次の丸太を割ると、薪割機の横のラムのガイドが引っ掛かり薪割機が損傷する恐れがあります。割った丸太は毎回必ず片付け、薪割機の周りには置かないでください。割った丸太が引っ掛かり薪割機が損傷した場合は、保証対象外となりますのでご注意ください。

セクション4 : 新割機のメンテナンス



警告： 新割機の調整や修理を行う時も、必ず安全ゴーグルをつけてください。
指が割れた丸太の間に挟まりつぶれてしまうなどの重大な事故を起こす可能性があります。

保証が無効となるもの

1. リザーバータンクの作動油のレベルを適正レベルで使用していない場合。
2. 適切な知識や手引きがないままバルブセッティングを変更したり、調整した場合。



警告： 圧力が高すぎるとホースが割れる、または、シリンダーが破裂し液体が噴き出す可能性があり、重大な障害を受けたり、大きなケガにつながる恐れがあります。

3. ポンプの分解をした場合。
4. 一般作動油 32番 または Dexron-Ⅲ以外の作動油を使用した場合。
5. 潤滑油の不足。本体に適切でない潤滑油を使用していた場合。
6. 油圧システムの過度の加熱。過度に熱くなるとオーリングが硬化し、過度の摩擦で油圧系を破壊することになります。
7. タンクの作動油が温まっていない状態で摂氏 -6° 未満の温度で使用したとき。
(オイルが過度に冷えていると循環やポンプの吸い込みができません。)
8. 油圧系の漏れを速やかに修理しなかった場合。
油圧系の漏れは速やかに修理してください。漏れを放置するとシステムに空気が入り、または、リザーバータンクのオイルレベルが下がり、保証対象外の損傷が生じることとなります。
9. 割れた丸太を片付けずに使用し、ラムのガイドなどが損傷した場合。
※割れた丸太は、必ず片付け、新割機の周りに障害物がないことを確認してからお使いください。

作動油

- ・使用するごとにリザーバータンクの中の作動油の量を点検してください。
- ・作動油のレベルは作動油注入口のオイルプラグの下が適正なレベルとなります。
- ・新割機の操作100時間ごとに認定サービスセンターでリザーバータンク内の作動油を交換してください。

ビームとくさび

- ・毎回新割機を使用する前にビームアッセンブリーの上部・側面・下部を潤滑剤で滑らかにしてください。

ホースクランプ

- ・毎回新割機を使用する前にポンプのサイドについている吸引ホース上にあるホースクランプが確実に閉まっているか点検してください。少なくとも1シーズンに1度はリターンホースのホースクランプも点検してください。

エンジン

- ・エンジンはエンジンのセクションを参考にしてください。

ベルト交換



警告： ベルトをはずす前に必ずエンジンを停止させ、プラグをはずしてアースしてください。

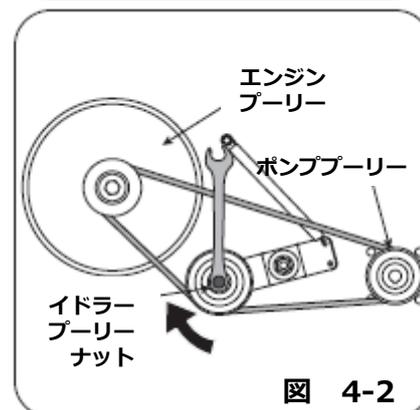
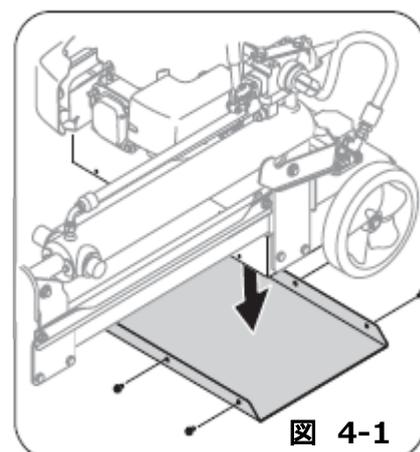
新割機は摩擦による消耗を受けやすく、摩擦のサインが出た場合は交換の必要があります。

重要： 新割機のVベルトはノンクラッチで一定のハリがあるベルトです。純正品でないVベルトを使用した場合、危険な事故を引き起こす恐れがあります。

注意： この手順は2人で行ってください。

1. 図4-1のように平らな地面の上に置いてください。
2. スパークプラグをはずし、アースしてください。
3. ガソリンを抜くか、もしくはガソリンの漏れを防ぐためにガソリンキャップの下に、1枚のプラスチック板を置きます。
4. フレームにベルトカバーを固定しているタッピングビスをはずし、ベルトカバーをはずします。(図4-1参照)
5. 両方のタイヤの前後を固定し、もう1人が本機をつかんで注意深く下のベルトが見えるように傾けます。

重要： エンジンオイルがキャブレターに入るのを防ぐため、また、作動油が空気孔から出るのを防ぐため、本機を横には傾けないでください。



- もう1人が本機を持ち上げ続ける間 9/16の六角レンチでイドラープーリーナットをにぎり、図4-2に示すようにイドラーブラケットに差し込み回転させます。これでイドラープーリーから簡単に外れやすくすることができます。



警告： イドラー Springs もしくはベルトをはずす時に、プーリーとの間に指を置かないでください。指をはさむなどのけがを避けてください。

- エンジンプーリーとポンププーリーからベルトをはずしてください。
- 新しいベルトを図4-2のように3つのプーリーの周りに取り付けてください。

注意： イドラーブラケットは自由に軸回転しなければなりません。

- もう一人が本機をもどし、ベルトカバーを付けます。決してボルトを締め付けないようにしてください。
- プラスチック板を使った場合ははずしてください。
- プラグを元通りに取り付けてください。

薪割機の保管

シーズンの終わり、または薪割機を30日以上使わない場合に薪割機の保管準備をします



警告： 燃料タンクに燃料を入れたまま保管しないでください。また、ストーブや給湯機などの近くなどには、保管しないでください。電気モーターなどが発火する恐れがあります。

- 薪割機をきれいにしてください。

注意： イ圧洗浄機やガーデンホースで洗うことは避けてください。

ベアリングやエンジンの損傷をおこします。水の使用は薪割機の寿命を減らします。

- 錆を防ぐためにオイルをつけて拭いてください。特に、くさび、ピームは必ず行ってください。
- エンジンが冷めていることを確認してから燃料をタンクから抜いてください。
燃料を扱っている間は、たばこなど発火の恐れがあるものの近くでは作業しないでください。
- タンクから燃料を抜いたあとエンジンをかけて、タンクとキャブを空にしてください。
- スパークプラグをはずしてください。プラグの穴からおよそ小さじ1杯のエンジンオイルをシリンダーに注ぎます。そしてオイルが分配するようにゆっくりクランクを回します。
- スパークプラグを再び取り付けます。
- ガソリンを必ず抜いてください。ガソリンは劣化します。

注意： エンジンの保管は“エンジンのメンテナンス”を参照してください。

- きれいで乾燥した場所に保管してください。肥料など発酵しているものの隣では保管しないでください。また薪割機を立てた状態で保管はしないでください。

注意： もし、金属のようなものの中に保管する場合は、本機にオイルまたはシリコンなどをコーティングして本機に錆びが発生することを防いでください。

セクション5 : トラブルシューティング

問題	原因	対処法
エンジンが起動しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグのワイヤがはずれている。 2. 燃料タンクが空か、燃料が古い 3. チョークがCHOKE位置にない。(チョークがある機種のみ) 4. セーフティスイッチが入っていない。 5. 燃料ラインが詰まっている。 6. スパークプラグの不良。 7. エンジンがかぶっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワイヤをスパークプラグに接続してください。 2. 古い燃料を抜き、新しいガソリンをタンクに入れてください。 3. チョークをCHOKE位置の方へ動かしてください。 4. 操作ポジションに動かし、セーフティスイッチを入れてください。 5. キャブレター、フロートを清掃してください。 6. 清掃するか、ギャップを調整するまたは取り替えてください。 7. 数分間待ってからエンジンをかけてください。
エンジンの動きが不安定	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパーク・プラグのワイヤがゆるい。 2. チョーク状態で運転している(チョークがある機種のみ) 3. 燃料ラインが詰まっているか、燃料が古い。 4. 燃料系統に水またはゴミがある。 5. エアークリーナーの汚れ 6. 燃料タンクの出口が詰まっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグのワイヤをきちんと接続してください。 2. チョーク・レバーをOFF位置の方へ動かしてください。 3. キャブレター、フロートを清掃する: 清潔な新しいガソリンをタンクに入れてください。 4. 燃料タンクの燃料を抜いて、新しい燃料を補給してください。 5. エアークリーナーをきれいにするか取り替えてください。 6. きれいに掃除してください。
エンジンが過熱する	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジンオイルのレベル不足。 2. エアークリーナーの汚れ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オイルゲージの適量位置までエンジンオイルを足してください。 2. エアークリーナーをきれいにするか取り替えてください。
時折スキップする	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグの不良。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグのギャップを調整する。またはスパークプラグを交換する。
アイドリングが不安定	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグが詰まっている、もしくはギャップの差が広すぎる。 2. エアークリーナーの汚れ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スパークプラグのギャップを調整する。もしくはスパークプラグを交換する。 2. エアークリーナーをきれいにするか取り替えてください。
シリンダー・ロッドが動かない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベルトが壊れている、もしくは外れている。 2. ポンプブリーのスクリュナットが適切でない。 3. ブリーが緩んでいる。 4. ギア部の損傷、バルブの損傷 5. 油圧管路が詰まっている。 6. オイルレベルが誤っている。 7. バルブが詰まっている。 8. 作動油がポンプに到達しない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベルトを交換する、または、しっかりと取り付けてください。 2. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 3. 必要に応じてブリーを調整してください 4. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 5. 油圧系を洗浄してきれいにしてください 6. オイルレベルをチェックしてください。 7. 油圧系を洗浄してきれいにしてください 8. 薪割機を平らな地面に置いて使ってください。
伸びたり戻ったりする際のシリンダーシャフトの速度が遅い	<ol style="list-style-type: none"> 1. ギア部の損傷、安全弁の損傷。 2. ポンプの吸込みが不安定。 3. エンジンの回転速度が遅い。 4. オイルレベルが誤っている。 5. オイルが汚染されている。 6. 指向性バルブが内部で漏れている。 7. シリンダー内部が損傷。 8. 薪割機を平らな地面で使っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 2. ポンプ注入口ホースが詰まっていないか確認してください。 3. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 4. オイルレベルをチェックしてください。 5. オイルを排出しオイルタンクを清掃して、オイルを補給してください。 6. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 7. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 8. 平らな地面に置いて使ってください。
シリンダーの漏れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漏れ止めの破損、シリンダーのひび。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定サービス・ディーラーに相談ください。
エンジンは動くが薪が割れない、またはゆっくりしか割れない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小型ギア部が損傷、ポンプの逆止弁の漏れ。 2. ポンプの吸込みが過剰。 3. オイルレベルが誤っている。 4. オイルが汚染されている。 5. 指向性バルブが内部で漏れている。 6. シリンダーの過負荷。 7. シリンダーの内部損傷。 8. ベルトが損傷している。 9. 薪割機を平らな地面で使っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 2. ポンプ注入口ホースが詰まっていないことを確認してください。 3. オイルレベルをチェックしてください。 4. オイルを抜きタンクを清掃してオイルを注入してください。 5. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 6. 木目に逆らって薪を割ろうとしないでください 7. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 8. ベルトを交換してください。 9. 平らな地面に置いて使ってください。
薪を割っている時にエンジンが止まる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低馬力/エンジンが弱い。 2. シリンダーの過負荷。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 木目に逆らって薪を割ろうとしないでください。また、8 t の力で割れない丸太の場合には自動的にエンジンが止まります。シリンダーが伸び切った場合にも、自動的にエンジンが止まります。
エンジンが回転しない。低負荷状態でもエンストする	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンジン/ポンプのミスアライメント。 2. ポンプが凍ったか焼き付いた。 3. 低馬力/エンジンが弱い。 4. 油圧管路の詰まり。 5. 指向性バルブの詰まり。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要に応じてアライメントを修正してください。 2. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 3. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 4. 油圧系を洗浄してきれいにしてください。 5. 油圧系を洗浄してきれいにしてください。
ポンプからオイルが漏れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドライブシャフトの破損、ギヤの損傷、軸封装置の不良。 2. エンジン/ポンプのミスアライメント。 3. オイルタンクの空気孔がふさがっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定サービス・ディーラーに相談ください。 2. 必要に応じてアライメントを修正してください。 3. 空気部分の通気孔を掃除してください。

注意：上記の軽微な調整を超える修理についてはお近くの認定サービス・ディーラーへ連絡をとってください。

セクション6 : エンジン安全注意事項



警告： ガソリンは非常に可燃性が高く、火災または爆発によるやけど、または死亡事故に至る可能性があります。本説明書をよくお読みになり、十分に注意してお取り扱いください。

燃料を加えるとき

- ・ エンジンを“OFF”にし、燃料キャップをはずす前に少なくとも2分間以上、エンジンを冷さましてくださいます。
- ・ 燃料は屋外で、あるいはよく換気された場所でタンクに入れてください。
- ・ タンクに燃料を入れすぎないでください。燃料は、トップ首部分の2.6cm下を目安にしてください。
- ・ ガソリンを火花、炎、口火、熱、その他発火性のものから離してください。
- ・ 燃料の量、タンク、キャップ、備品にひびや漏れがないか頻りに調べてください。また、必要に応じて交換してください。

エンジンを始動するとき

- ・ 点火プラグ、マフラー、燃料キャップ、エアークリーナーがしっかり設置されていることを確認してください。
- ・ 点火プラグをはずした状態でエンジンを回さないでください。
- ・ 燃料が漏れた場合、エンジンのスタートはガソリンが充分蒸発するまでお待ちください。
- ・ 燃料が供給されすぎてエンジンがかからない場合は、数分間待ってからエンジンをかけてください。

動かす準備の時

- ・ ガソリンがこぼれる角度までエンジンを傾けないでください。
- ・ エンジンを止めるためにキャブレターをふさがさないでください。

輸送するとき

- ・ 燃料タンクを空にした状態で輸送してください。

タンクの中に燃料がある状態で保管するとき

- ・ 炉、ストーブ、給湯器など発火の原因となるものから本機を離して保管してください。
- ・ ガソリンの気化ガスが発火する可能性があります。

注意： 長期間保管する場合は、必ずガソリンをぬいて保管してください。



警告： 点火による火災または、感電などを起こす可能性があります。十分に注意してお取り扱いください。外傷あるいは裂傷などの事故につながります。

調整や修理を実行する前に

- ・ 点火プラグコードをはずし、点火プラグから離しておいてください。

スパークのテストをするとき

- ・ 認可されている点火プラグテスターをご使用ください。
- ・ 点火プラグをはずしたまま、スパークについて調べないでください。



警告： エンジンのスタート時、火花が生じます。すぐ近くに発火しやすいガスがあると発火し、爆発や火災を起こします。

- ・ 近くに天然ガスやLPガスがある場合はエンジンをスタートしないでください。
- ・ 気化ガスが発火するのを防ぐため、圧縮されたスタート用ガスは使用しないでください。



警告： エンジンは無臭、無色、有毒の一酸化炭素を発生します。一酸化炭素を吸引すると、吐き気、気絶、あるいは死にいたる事故を引き起こします。

- ・ エンジンは屋外で始動させてください。たとえドアや窓があいていても閉鎖された場所でエンジンを始動させないでください。



警告： 動いているエンジンは熱を生じます。エンジン部品（特にマフラー）はかなり熱くなります。接触すると高温による火傷をおこします。葉、草、低木など燃焼性のものが近くにある場合、火災を起こす原因となります。

- ・ 触れる前に、マフラー、エンジン・シリンダー、およびフィンが冷えていることをご確認ください。
- ・ マフラー及びシリンダー周辺から蓄積している可燃物を取り除いてください。



警告： 回転部分に接触することは、手、足、髪の毛、衣類あるいはアクセサリーが絡まる原因となり、外傷あるいは裂傷などの重大な事故につながります。

- ・ 回転する部分から手や足を離してください。長髪の場合は縛ってアクセサリーなど身につけているものははずしてください。
- ・ ルーズな衣類を着用したり、ものを下げている場合などは巻き込まれる原因となるので避けてください。



警告： リコイルロープなどの急速な引き込み（キックバック）は、手や、腕を予想外の早さでエンジンの方へ引っ張ります。骨折や捻挫の原因となります。

- ・ エンジンを始動させるには、まず、抵抗を感じるまでリコイルロープをゆっくりと引き、それから速く引いてください。

安全ラベル

- ・安全ラベルは深刻なケガにつながるような重要な警告が書かれています。

シンボルの説明は 図6-1 を参照してください。



図6-1

セクション7 : エンジンの操作

エンジンについて

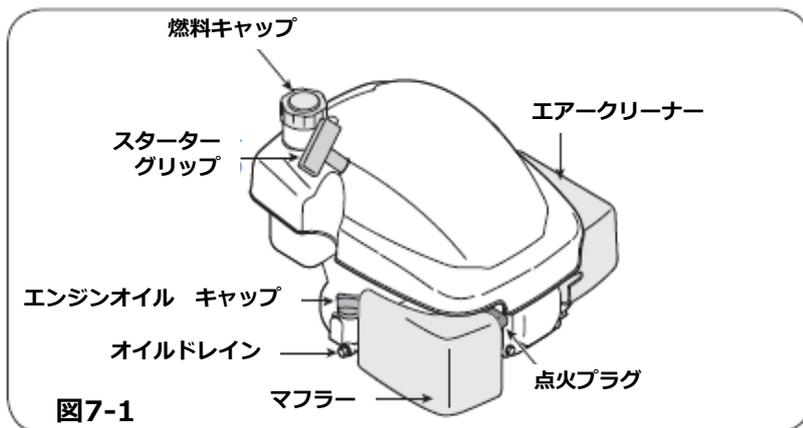
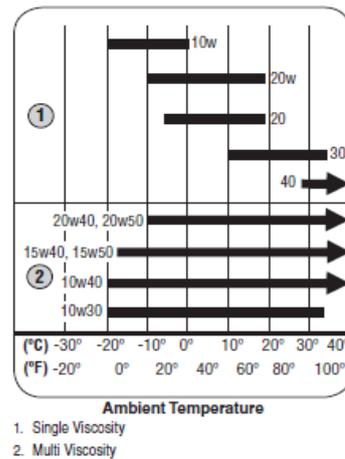


図7-1

- ・図7-1を参照し、エンジンの各部分の名称を覚えてください。



1. Single Viscosity
2. Multi Viscosity

操作前の点検

- ・このエンジンには出荷時にエンジンオイルが入っております。エンジンを動かす前には必ずエンジンオイルの量を確認してからお使いください。エンジンオイルが減っている場合はエンジンオイルを足してください。推奨エンジンオイルは4サイクル用の 10W-30 となります。
- ・エンジンオイルがない状態でエンジンをかけた場合、エンジンは修理できないダメージを受け保証対象になりません。

重要：2サイクル用のオイルは絶対に使わないでください。

オイルレベル

1. オイルキャップをはずし、計量棒をきれいに拭きます。(図7-2参照)
2. 計量棒をもとに戻し、きつく締めてください。もう一度計量棒を上げ、オイルの量をはかります。
3. オイルの量が少ない場合、ゆっくりとエンジンオイルを入れ、計量棒でレベルをはかります。
4. 計量棒の“UpperLevel”に来るようにオイルを加えてください。
5. オイルを入れ終わった後は、計量棒を取り付け、しっかり締めつけてください。

重要：エンジンオイルを入れすぎないでください。オイルの入れすぎはエンジン始動時に煙が出たり、点火プラグのつまり、エアフィルターへのオイルの侵潤を引き起こすことがあります。

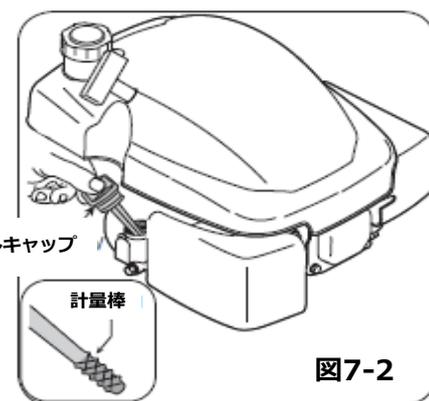


図7-2

燃料のタイプ ・無煙ガソリンを使用してください。

・ガソリンとオイルを混ぜないでください。



- 警告：**
- ・混合ガソリンと古いガソリンは使用しないでください。
 - ・燃料タンクに入れる時に、ほこり、ゴミ、水が混ざらないように注意してください。
 - ・水平な場所で、エンジンが止まっている状態でガソリンを注入してください。
 - ・ガソリンを取り扱う時は発火物に注意してください。
 - ・燃料を注入するときは、あふれないようにし、注入口より下にしてください。
 - ・入れた後燃料キャップが適切に閉められていることを確認してください。
 - ・万が一燃料がこぼれた場合は、完全に乾燥させてから使用してください。
 - ・ガソリンは有毒なため、肌につけたり、吸引したりしないでください。

燃料の注入とレベルチェック

1. 燃料を入れる前に注入口回りをきれいにしてください。
2. 燃料注入口の下、約2.6cm下までガソリンを注入します。

重要： 使用後に燃料を入れる場合は、エンジンを切ってから2分間以上エンジンをさましてから燃料を入れてください。

エンジンの始動



警告： 手や足を動いている部分に触れないようにしてください。
スタート用圧縮ガスは使用しないでください。

1. セーフティスイッチが入るロックポジション（操作ポジション）にシリンダーがあることを確認してください。
(セーフティスイッチを押していないとエンジンがかかりません。)
2. エンジンにあるチョークノブを引きます。(図7-3参照)

注意： チョークの使用はエンジンが温まっている場合、気温が高い場合は必要がない場合があります。

3. エンジンスイッチを“ON”に回します。
4. リコイルロープを握り、抵抗を感じるまでゆっくりと引き、それから素早く引いてエンジンをかけます。キックバックを避けてください。10回繰り返しても始動しない場合は、2~3分待ってから同じ動作を繰り返します。
5. エンジンが温まってから、チョークノブを戻してください。

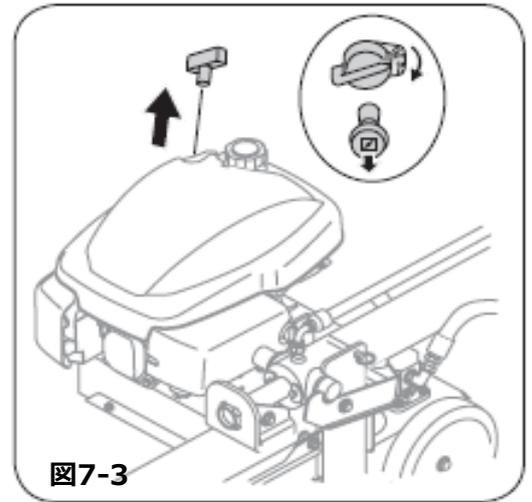


図7-3

セクション8 : エンジンのメンテナンス



警告： エンジンのメンテナンスをするときは、必ずエンジンのスイッチを切ってください。
不意なスタートを防ぐため、スパークプラグをはずしてください。

重要： 輸送する際などエンジンが傾く場合は、エンジンの点火プラグが上になる状態を保ってください。
点火プラグを下にしてエンジンを傾けた場合に、煙が出る、スタートしにくい、点火プラグが詰まる、エアフィルターにオイルが侵潤する、などの状態が起こる可能性があります。
定期的なエンジンの調整・点検は、エンジンの使用期間を長くすることができます。

駆動時間または 期間のうち 早い方	初めの 5時間後	使用後と もしくは 5時間ごと	シーズンごと もしくは 25時間ごと	シーズンごと もしくは 50時間ごと	シーズンごと もしくは 100時間ごと
エンジンオイルの量を点検		✓			
エンジンオイル交換	✓		✓ ++	✓	
エアークリーナー点検		✓			
エアークリーナー交換			✓		
点火プラグ点検			✓ +		
点火プラグ交換					✓
ゴミ取り		✓			
マフラー周辺の掃除		✓			

注意： ++ 汚れた場所で使用している時は、頻りに交換してください。

+ 重稼働または、高温の場所での使用が続いている場合は頻りに交換してください。

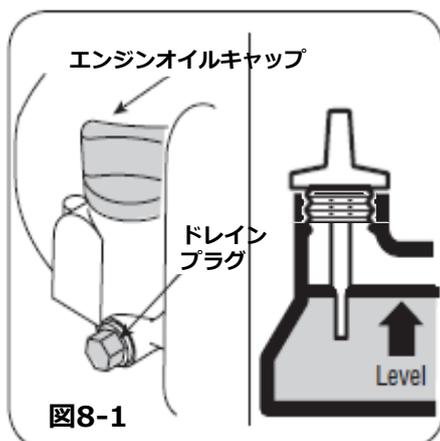


図8-1

エンジンオイル点検

- ・正しいエンジンオイルのレベルが維持されていることを確実に点検してください。
- ・5時間ごと、または、使用前には必ずエンジンオイルの量を点検してください。

エンジンオイル交換

重要： エンジンが停止している状態で交換してください。

1. ドレインプラグをはずし、エンジンオイルを適切な容器に排出します。(図8-1)
2. ドレインプラグを再び取り付け、しっかりと締めます。
3. エンジンオイルキャップを開け、推奨オイルを注入します。
オイルのレベルをチェックします。(図8-1)
4. エンジンオイルキャップをしっかりと締めます。

重要： 使用したエンジンオイルは皮膚癌につながる危険があります。
体に触れた時は、石鹸と水で徹底的に洗ってください。

注意： 使用済みオイルは通常の家ごみと一緒に捨てないでください。

地域の規則を順守し、安全な処理をするか、または、再生施設での処理をお願いします。。

エアークリーナー

ペーパーフィルターは1年に1回、または100時間ごとに交換してください。かなりほこりのある状況で使用している場合は、より頻繁に交換してください。



警告： エアークリーナーエレメントを掃除する場合、ガソリンは使用しないでください。火災と爆発の危険があります。

注意： エアークリーナーがない状態でエンジンを動かさないでください。エンジンの消耗を早めます。

1. ウィングボルトとエアークリーナーカバーをはずします。エレメントをはずし、それらを分けます。(図8-2参照) 汚れていたり、損傷がある場合はペーパーエレメントを交換します。
2. フォームエレメントを掃除するために、ペーパーエレメントと分け、液状の洗剤と水で洗い、使用前に完全に乾かします。フォームエレメントにはオイルをつけないでください。

点火プラグ



警告： 点火プラグをはずした状態でスパークさせないでください。また、点火プラグをはずした状態でエンジンを回さないでください。

適切なエンジンを操作するために、点火プラグを適切にセットしてください。点火プラグは適正なギャップが必要で、ゴミなどの沈殿物は取り除いてください。

1. スパークプラグのゴムチューブをはずし、点火プラグをはずします。点火プラグをはずすには、プラグレンチを使用してください。(図8-3参照)



警告： エンジンが動いた時は、マフラーなどが熱くなっているため、触らないようにしてください。

2. 点火プラグを点検します。もし、絶縁体が欠けていたり、剥離しているなどの消耗などがあった場合は交換してください。再使用できる場合は、ワイヤーブラシなどできれいにします。
3. ワイヤー隙間ゲージなどで電極間をチェックし必要な場合設定します。(0.030in 0.76mm) (図8-4参照)
4. 点火プラグワッシャーと点火プラグが良い状態であることを点検してください。
5. 点火プラグをプラグレンチでしっかりと締めます。

重要： 点火プラグはしっかりと締めてください。しっかりと締められていない点火プラグは熱くなり、エンジンの損傷を起こすことがあります。

エンジンの清掃

エンジンが動いている時は、清掃前に少なくとも30分はエンジンを切り、冷ましてください。定期的にエンジンから出るごみなどを取り除きます。ブラシ、または、コンプレッサーなどを使い、きれいにしてください。エンジンに水をスプレーしないでください。ガーデンホース、高圧洗浄機なども使用しないでください。



警告： もし、エンジン内部が保管中にオイルで覆われていた場合、エンジン使用時に煙が出ますが、問題はありません。

エンジンの保管

必ずガソリンを抜いて保管してください。ガソリンは劣化し、キャブレターが詰まります。

1. 全ての燃料をタンクから抜き、エンジンをかけて止まるまで待ちます。
2. 必要がある場合、エンジンオイルを交換します。
3. 点火プラグをはずし、シリンダーにエンジンオイルを小さじ1杯注ぎ、点火プラグをつけた後、オイルが分配されるようクランクをゆっくりと回します。
4. エンジン回り、マフラー周辺、うしろのほこり、ゴミなどをきれいにします。

保管状態から動かす時

1. この取扱説明書に書いてあることをチェックしてから動かしてください。
2. 燃料が入っていない場合は、新しいガソリンを入れてください。携行管も新しいガソリンにしてください。

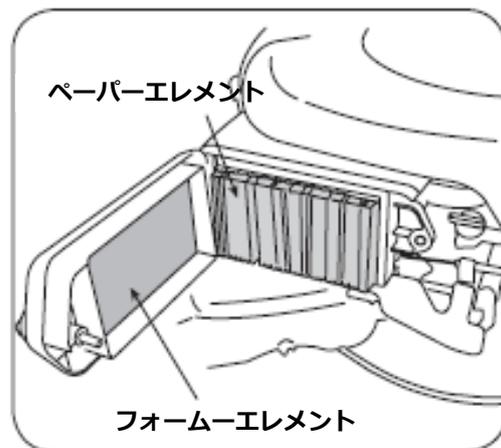


図8-2

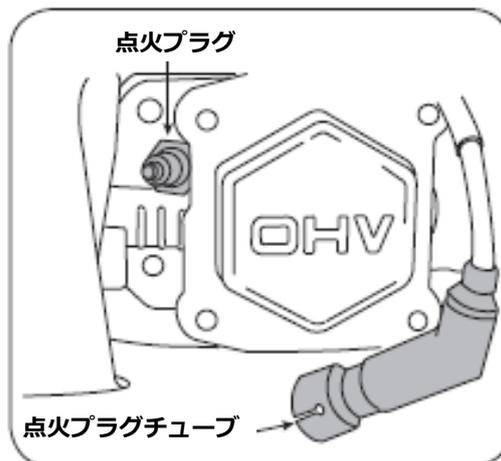


図8-3

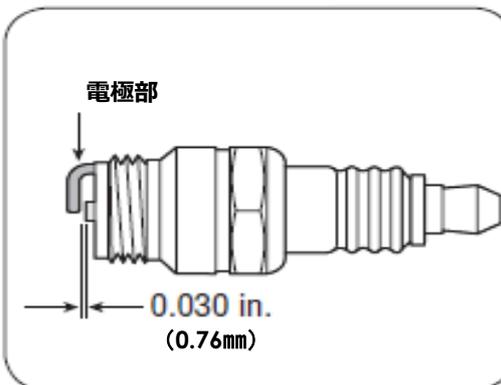


図8-4

MTD 限定保証書

株式会社 エー・プラス（以下a+）は、MTD LLC の品質保証に基づき、下記の通りの限定保障をいたします。

本商品の不具合に対して最初の購入日より **1年間** 保証し、選択的にではありますが、材料や製造における欠陥が見つかった部品は、無償で修理または交換いたします。この限定的な保証は、付属の取扱説明書に従って本製品を使用したり点検を行った場合であり、誤使用、悪用、商業的使用、不注意、事故、不正な点検、改造、破壊行為、窃盗、火事、水害、または、他の危難や天災による損害などが原因でない場合に限り適用します。本取扱説明書に記載してある本製品の使用のためであっても、a+が承認していない付属品や部品を取り付けたり使用したりした場合は、それによって本製品に損傷が生じても保証対象外となりますのでご注意ください。

本製品の正規の消耗部品は以下のとおり別条件になります。すなわち、正規の消耗品の故障についてはその原因に関係なく90日間は保証の対象とします。90日を過ぎて1年以内は、他の部品の材料または製造上の不具合により消耗部品に故障が発生した場合にのみ、その消耗部品を保証の対象とします。正規の消耗部品には、電池、ベルト、刃、刃アダプター、芝袋、乗車デッキホイール、座席、雪放し器、スキッドシュー、雪削板、オーガラせんゴム、タイヤなどを含まれますが、これらに限定されるものではありません。

オーナー登録をしてください。

保証サービスを受けるには、購入時のオーナー登録が必要となります。
同封の“登録用はがき” でオーナー登録をお願いします。

サービスを受けるには：
保証サービスを受けるには、お買い求めの販売店にご連絡してください。

この限定保証書は、以下の場合には適用されませんので、ご注意ください。

- 潤滑油、フィルター、刃の研磨、エンジン調整、ブレーキ調整、クラッチ調整、デッキ調整および使用や時間の経過に伴う一般的な外装の劣化などの日常メンテナンス項目。
- MTD日本正規輸入元のa+が販売した製品が対象となるため、並行輸入などそれ以外のルートでご購入をされた製品に対してはいかなる保証も行いません。
- MTD LLC /a+純正の部品以外は、この保証の対象になりません。
- 公認している取扱店以外で受けた点検もこの保証の対象にはなりません。
- 輸送費用や点検時の派遣費用は対象となりません。

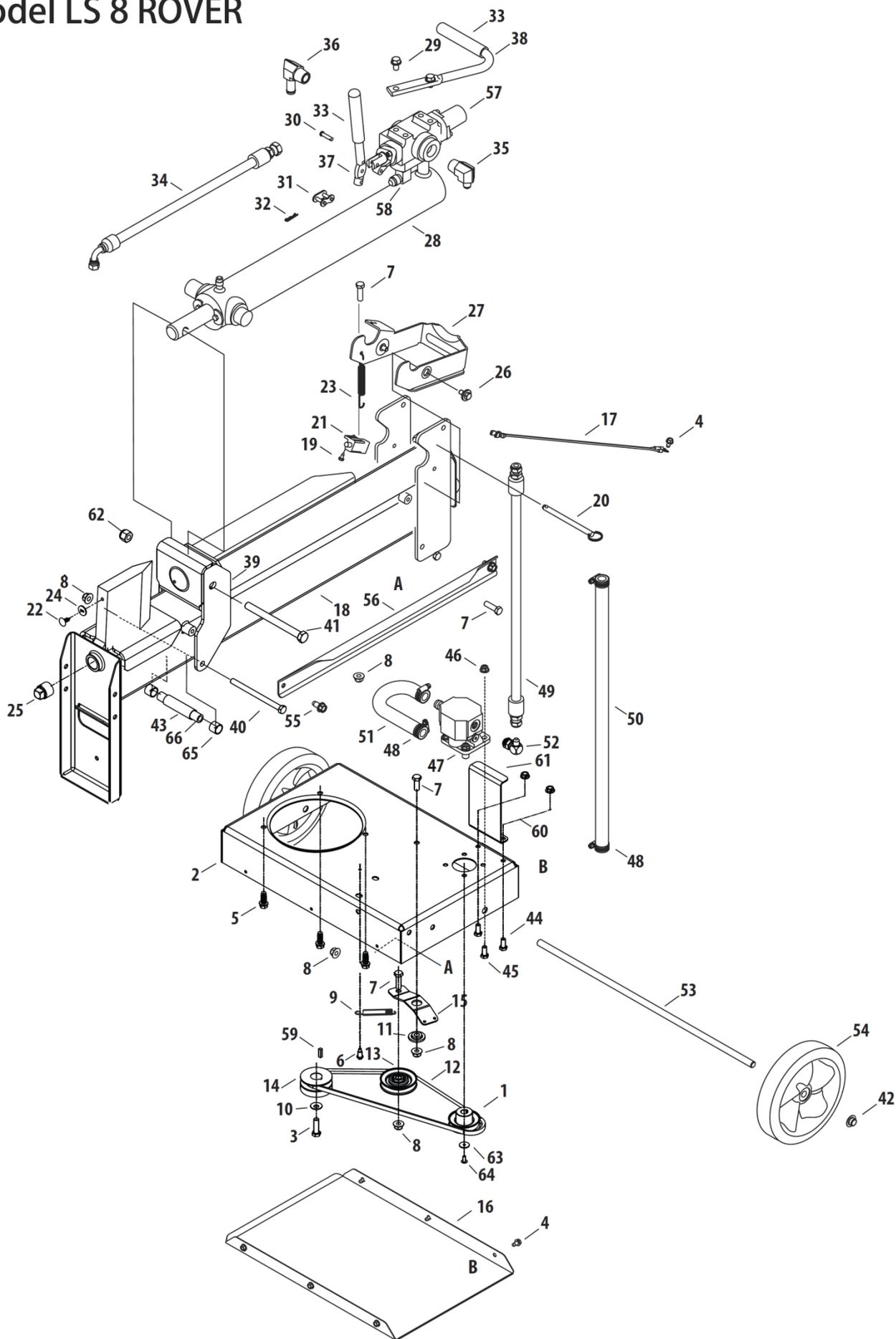
上記の製品に対する保証は、書面による明示的な保証の有効期限を過ぎた後は適用されません。製品に関して書面または口頭にて、取扱店または販売店を含めたいかなる人、あるいは団体が他の明示的な保証を約束したとしても、a+は上記の保証以外には責任を持ちません。期間中における唯一の保証は、上記のとおり製品の修理または交換です。本保証書に記載した条項は、ご購入いただいた製品にのみ適用されます。代替えまたは一時的な業務委託により生じる費用あるいは、保証対象製品の一時的なレンタル費用を含めて、二次的あるいは結果的な損失または損害に対して、a+は責任を負わないものとします。

- いかなる場合にも、保証総額が販売した製品の購入金額を超えることはありません。
- 本製品の安全機能を変更すると、本保証は無効となります。本製品の誤使用や使用能力欠如から生ずるお客様自身あるいはお客様の財産、または他人や他人の財産に対する損失、損害または障害に関しては、お客様自身が危険と責任を負います。
- この限定保障は、当初の購入者以外の人、あるいは購入者から贈り物として受け取った人には適用されません。



— MTD 日本正規輸入元 — a+ 株式会社 エー・プラス
〒396-0217 長野県伊那市高遠町上山田86 Phone.0265-94-6121

Model LS 8 ROVER



MTD ROVER LS8 パーツリスト

Ref.	Part Number	Description
1	656-04037	Pulley .50 ID x 2.38 OD
2	681-04065A	Frame Assembly
3	710-0191	Hex Screw 3/8-24 x 1.25
4	710-0653	Hex Washer Screw, 1/4-20 x .375
5	710-0654A	Hex Washer Screw, 3/8-16 x .88
6	710-1650	Self-tapping Screw, 5/16-18 x .875
7	710-3005	Hex Bolt 3/8-16 x 1.25
8	712-04065	Flange Lock-Nut 3/8-16, Nylon
9	732-04217	Extension Spring .375 x 2.95
10	936-0452	Belleville Washer
11	748-04125	Shoulder Spacer .30 x .46
12	754-04128	Belt, V-Type, 3L, 33.92" Lg.
13	756-04133	Pulley, V-idler, 2 x 2.75 x .625-3L
14	756-04304	Idler Pulley
15	781-04132	Belt Idler Bracket
16	781-04161	Belt Cover
17	629-04161	Harness, Interlock
18	681-04064	Tank Assembly
19	738-04237A	Shoulder Screw #10-16 x .50
20	711-06452	Pin, locking
21	725-04363	Switch, Interlock
22	726-3046	Foot Pad Clips (Not Shown)
23	732-04085	Extension Spring .480 OD x 5.0
24	736-04178A	Washer, slotted, felt
25	737-04148	Drain Plug
26	738-0930	Shoulder Bolt
27	781-04168	Bracket, Lock, Cylinder
28	918-04241	Cylinder
29	710-0623	Hex Tap Screw, 3/8-16 x .62
30	711-04585	Clevis Pin
31	913-04036	Link, Handle, Valve

Ref.	Part Number	Description
32	914-0104	Cotter Pin
33	720-04088	Grip
34	727-04182	Hose, Valve, Cylinder
35	737-04155	Adapter, Hydraulic
36	737-04154	Adapter, Hydraulic
37	747-04539	Control, Valve, Hydraulic
38	747-04707	Handle, Rod
39	681-04087B	Assembly Bracket, Push
40	710-0615A	Hex Cap Screw, 3/8-16 x 5.0
41	710-0382	Hex Cap Screw, 1/2-13 x 5.00
42	726-0299	Push Cap x 1/2" Rod
43	750-0802	Spacer .640
44	710-3008	Hex Cap Screw, 5/16-18 x .75
45	710-3008	Hex Cap Screw, 5/16 x 1.00
46	712-3004A	Flange Locknut 5/16-18, Nylon
47	918-04243	Pump, gear
48	726-04079	Hose Clamp
49	727-04154	Hose
50	727-04156	Hose, return
51	727-04157	Hose, Inlet
52	737-04187	Fitting, elbow
53	711-04575	Axle
54	734-1781	Wheel Assembly 8 x 1.75 Grey
55	710-0604A	Hex Washer Screw, 5/16-18 x .75
56	781-04124	Bracket, Support
57	918-0481A	Valve
58	737-0192	90 Degree Solid Male Adaptor
59	914-0122	Square Key 3/16 X 3/4
60	712-3004A	Nut, 5/16-18, Flangelock
61	781-05004	Cylinder Support Bracket
62	712-3022	Nut, 1/2-13, Hexlock
63	736-04655	Flat Washer: 3/16 x 3/4 x 16G
64	710-05483	Screw: 3/16 x 1/2
65	741-04555	BRG:SLV:.638x.753.615
66	750-04668	Spacer:.385x.625x4.070

— ご購入店・お問い合わせ先 —

